

# 杉劇 アート de 伝承 プロジェクト

2018レポート

地域の知られざる歴史や魅力を掘り起こす!!

プログラムⅠ

調査記録プログラム

プログラムⅡ

伝承プログラム

プログラムⅡ

地域文化普及プログラム

Chosa  
kiroku



Jidai-geki



ro boku



gagaku



recorder's



sugigeki ☆ kagekidan



utagee



lobby  
performance



SUGIGEKI  
ART de DENSHO PROJECT  
2018 REPORT

横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

助成：一般財団法人 地域創造

# 調査・記録プログラム

「地域の文化はいつから始まったの?」「地域のお宝発見!!」

「こんな歴史があったんだね!」

地域を愛する人たちが文化を未来へ紡いでいくプログラム。

プランニングはいそご文化円卓会議で。

地域の神社のマップ、各地域の文化的な空間を盛り込んだガイドマップも作りました。

調査する中で、出会いが生まれ、地元愛にあふれた人、人、たくさん見つけました!!

## いそご文化資源発掘隊

磯子区の歴史や文化を掘り起こす“いそご文化資源発掘隊”。今年度は、調査・記録プログラムの一環として、調査から得た磯子区の人や歴史の情報を元に、まち歩きや講座、座談会を開催しました。

### 第41回 意外と知らない汐見台散歩

実施日：2018年11月25日 案内：春田初美さん 参加者：16名



1 集合場所の屏風浦駅付近から急な坂を上ります。



2 昔この場所からペリーの黒船を見たという言い伝えがある汐見台大塚



3 晴天時には、富士山まで見える絶景ポイント



4 最後は森浅間神社にお参り

### 第43回 新春 磯子のお宝探し

実施日：2019年1月27日 案内：曾根武夫さん 参加者：22名



1 線路沿いをずっと進みます。



2 貴重な土器や石器を間近で拝見。



3 曾根さん作製の木材標本。一同興味津々。



4 最後は栗木神社にて、境内を見学。

### 第42回 講座

#### 『まち歩きが楽しくなる神社の話』

磯子区内における神社の調査や研究をしている小沢朗調査員が、今後のまち歩きに活かせる神社の基礎知識を説明しました。

実施日：2018年12月16日

講師：小沢朗(伝承プロジェクト調査員) 参加者：8名



### 第44回 座談会

#### 『旧杉田劇場の思ひ出』

美空ひばりさんが幼い頃何度か出演したことでも有名な“旧杉田劇場”について、当時を知る方々にお話を伺いました。

実施日：2019年2月24日 登壇者：関フミ子さん、田中耕多さん、水野直春さん 参加者：55名



### 座談会エピソード ～ 縁は異なるもの味なもの ～

当時中学生で勸進帳を杉田劇場で演じた磯子の町の方が、66年ぶりに義経役の台詞回しを披露してくれました。

また、幼き日の美空ひばりさんを知る別の方は、一緒に石蹴りをした思い出が残っており、当時から歌がうまかったとのこと。

そして、当時の看板役者のお孫さんが新潟から駆けつけてくれたというエピソードもありました。

### 調査・記録

磯子区の歴史に詳しい調査員とともに、今年度は区内の神社へヒアリングを行い、貴重な情報を得ました。

### いそご文化 円卓会議

磯子区内の様々な情報や人を知る方々に、各事業のアドバイスをいただく作戦会議の場。



### 磯子文化

### ガイドマップ4

調査で巡った磯子区全ての神社をマップとして掲載しています。磯子区内を中心に配布中!



## \\ 伝承プログラム //

郷土の横浜が空襲に見舞われたこと、江戸時代の生活のこと、歴史のある日本の音楽のことなど、こどもたちに、時代が変わっても忘れてはならないこと、伝えていきたいことを舞台にして、杉田劇場で体験してもらおうプログラム。地域発の朗読劇、時代劇、邦楽(雅楽)を取り上げました。

### vol.10 横浜夢座 朗読「真昼の夕焼け」

昭和20年5月29日は、横浜大空襲、大戦禍に見舞われた横浜。その日、当時中学生だった作者が見た横浜の市街地の悲惨な光景、その日の淡い出会いを朗読劇にしました。横浜夢座(座長:五大路子)のオリジナル芝居として、「こどもたちに戦争を知ってもらいたい」という五大さんの熱い想いで、磯子区内の小学生に向けて、横浜大空襲の日に近い日程で上演しています。

実施日: 2018年6月22日

参加校: さわの里小学校6年生(50名)、屏風ヶ浦小学校6年生(84名)  
洋光台第4小学校6年生(65名)



### vol.11 劇団若獅子 ~時代劇を学ぼう~



新国劇の精神を受け継ぎ、真に格調ある大衆演劇の継承・保存・定着を目指し活動されている「新生若獅子」の役者さんから、江戸時代の言葉づかいや所作、生活習慣、ものの考え方をわかりやすく解説してもらいました。現代でも使われている言葉があることを知り、殺陣を通じて命の大切さを学びました。また、こどもたちも実際に舞台へ上がり、殺陣や着付けの体験もしました。

実施日: 2018年11月26日

参加校: 岡村小学校6年生(62名)、山王台小学校6年生(61名)

### vol.12 邦楽を堪能しよう

磯子区在住の笙奏者・真鍋尚之とその仲間たちによる雅楽と舞楽を、本格的な雅楽の舞台を設営し、解説を交えながら上演しました。小学校の音楽の授業でも取り上げる「越天楽」の演奏や楽器の解説、また、一部のこどもたちには舞台上で楽器の演奏をしてもらい、日本の伝統芸能に触れる貴重な体験をしました。

実施日: 2019年1月24日

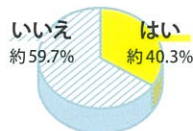
参加校: 屏風ヶ浦小学校6年生(84名)  
汐見台小学校6年生(122名)



#### 小学生たちの声

Q1:

今まで劇場に  
来たことは  
ありますか?



Q2: 初めて劇場に入った感想を教えてください。

- 想像していたより大きくてびっくりしました。■ マイクがなくても響きそうだった。すごく大きかった。
- 思っていたよりも広いホールで、自分的に落ち着く場所だった。■ 外や中がとてもきれいで、イスも7フカで良かった。また、ホールが広くてすごいと思った。■ すごくきれいでオシャレでとても大きくてゆつたりと演そうを聞くことができた。

Q3: 生の音楽や劇を観てどんな気持ちになりましたか?

- 朗読する人たちの一言ひとことに感情がこもっていたから、その場面を頭に思い浮かべることができ、話の内容がより伝わった。■ 音楽で戦争の激しさを、劇で戦争の過酷さを伝えていて、実際にその場にいるような気持ちになりました。■ 生で劇を観て、映像にはない迫力があって驚きました。
- その場面ごとに音楽のリズムや照明の色が変わり、とても迫力がありました。■ 写真で見たような並び方で演奏していて衣装もちゃんと着ている普段はあまり見ない雅楽を見ることができていい経験になりました。■ とても個性のある楽器で、独特な音が出ていて楽しむことができた。楽器のうらがわがまさつかなにかで黒くなってびっくりした。■ CDとは違ってはく力もすごかったし、楽しい気持ちになった。また、オーケストラでは指揮者を観て、音色を合わせていたけど、雅楽では指揮者がいないから、「合わせることですごいな〜」と思いました。■ 生で見ると、とてもはく力があり、音もしっかりひびいていることが分かった。■ 日本独自の雅楽の響きを実際に聞いて良かった。

## \\ 地域文化普及プログラム //

地域の歴史や人を、文化や芸術を通して伝えていく担い手育成プログラム。

今年度は、公募による地元の小中学生と大人たちで構成されている

地域密着型エンターテインメント集団“杉劇☆歌劇団”が、

昭和の時代に走っていた市電(ちんちん電車)を題材に創作芝居を製作。

長い歴史を刻んできた、岡村囃子一友會のお囃子や地域の親父バンド等とともに杉田劇場冬まつりライブに出演し、昔と今の磯子の文化を体験する機会を作りました。

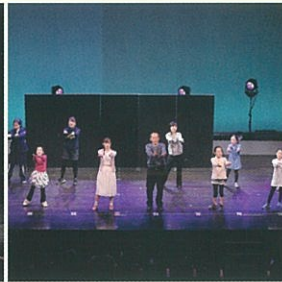
### 杉劇☆歌劇団

冬まつりライブでのお芝居は・・・。

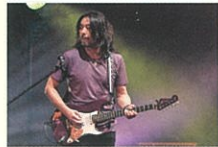
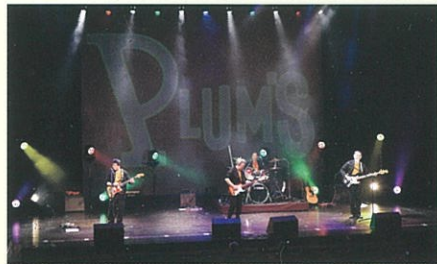
トラム・トラウム 市電の夢

昭和の磯子にタイムスリップ

昔、区民の足として磯子を走っていた市電。磯子ダンスフェスティバルの練習をしていたこどもたちが迷い込んだ先は久良岐公園にある市電。市電で昔の磯子、サキエに出会います。大好きな磯子を時を超えて伝えていく物語。



### 杉田劇場冬まつりライブ2019



杉田劇場で地域の人たちが中心となって行う冬まつり。江戸時代から梅の名所だった杉田でしたが、太平洋戦争で梅を伐採されてしまいました。しかし、実はこっそり梅が疎開していたのです。疎開地の曾我梅林にあった杉田梅を磯子や杉田に戻そうと、杉田梅復活推進委員会がまぼろしの杉田梅を地域や学校に移植しています。冬まつりは、そんな貴重な杉田梅をロビーに飾り、岡村のお囃子でスタートし、獅子舞とひよっこがお客様をおもてなし。その後、歌劇団や商店街の親父バンド“ブルームス”、地元中学校の卒業生バンド、地元のこどもたちのダンスパフォーマンスで、地域の皆さんと杉田劇場の周年記念をお祝い。こどもからおとなまで、杉田の良さを受け継いでいくお祭りになりました。

### 杉劇リコーダーず

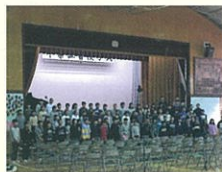


2006年に杉田劇場で生まれた異世代リコーダーアンサンブル。こどもから80代までのメンバーは、地域に元気を届ける杉田劇場の

親善大使。地域の祭りや県外にも出前演奏。

今年度は、杉田八幡宮の神楽殿で、夏まつりに奉納演奏。世界遺産になった長崎の教会に招かれての演奏会。災害スマイリングフェア2019にも出演、復興支援ソングや美空ひばりさんの曲などを披露。小さな文化交流、地域貢献をしています。

### 歌声プロジェクト



2014年7月、杉田小学校音楽朝会でこどもたちの歌声を聞き、この歌声を街の人たちにも聞いてもらいたいという当時の校長先生のことばを商店街につないで、地域の交流会で賛同してもらい、発展した事業。こどもたちの歌声を、学校に向いて杉田劇場の専門スタッフが収録し、磯子区内の商店街と磯子区役所に届けています。商店街を行き交う方々や学校関係者、地域住民のみなさまに大変好評で、「街がこどもたちの歌声で元気になっている」という声が多く寄せられています。

実施小学校：杉田小学校、洋光台第四小学校、さわの里小学校、森東小学校、洋光台第二小学校、根岸小学校

### ロビーパフォーマンス

杉田劇場で毎月第3木曜日に開催している、未就学児向けイベント「ロビーパフォーマンス」。今年度は紙芝居や地域の読み聞かせサークルのみなさんも演者として登場。障がいのあるこどもたちも、おじいちゃんおばあちゃん世代も多く参加しています。身近な地域の居場所としての杉田劇場を知ってもらおうきっかけにもなっています。

横浜市磯子区民文化センター

# 杉田劇場

[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団/特定非営利活動法人チーム杉劇/有限会社アィコニクス/株式会社ニックスサービス共同事業体]

〒235-0033 横浜市磯子区杉田1-1-1(らびすた新杉田4階)

電話:045-771-1212 FAX:045-770-5656

Eメール:sugigeki@yaf.or.jp URL http://www.sugigeki.jp/